

環境行動計画(エンドレス グリーン プログラム 2026)の実績と自己評価

😊 : 2023年度目標達成
 😞 : 2023年度目標未達成(達成率90%以上)
 😡 : 2023年度目標未達成(達成率90%未満)

■ 気候変動の緩和と適応

チャレンジ・ゼロ	管理指標 (KPI)	2021実績	2022実績	2023目標	2023実績	2024目標	2026目標	該当ページ
①まちづくりにおけるCO ₂ の チャレンジ・ゼロ	商品の使用によるGHG排出量削減率(総量) 2015年度比	29.4%削減	39.3%削減	45%削減	52.2%削減	😊	54%削減	021、125
	ZEH率	53%	86%	90%	97%	😊	90%	022、126
	ZEH-M率【賃貸住宅】	3%	14.2%	20%	48.7%	😊	50%	022、126
	ZEH-M率【分譲マンション】	35%	67.5%	70%	90.5%	😊	100%	022、126
	ZEB率	38%	65.7%	70%	68.5%	😞※1	73%	023、126
	ZEH改修相当棟数	1,478棟	1,472棟	3,200棟	3,789棟	😊	3,800棟	023、127
	再エネ電力販売量	121GWh	366GWh	635GWh	696GWh	😊	—	127
②事業活動におけるCO ₂ の チャレンジ・ゼロ	事業活動によるGHG排出量削減率(総量) 2015年度比	20.8%削減	33.5%削減	50%削減	26.3%増加	😡※2	52%削減	021、131
	電化の推進—クリーンエネルギー自動車導入率【社用車】	0.3%	2.8%	7%	6.3%	😞※3	13%	026、136
	電化の推進—クリーンエネルギー自動車導入率【マイカー】	—	1.0%	2%	2.0%	😊	4%	026、136
	エネルギー効率(EP100) 2015年度比	1.47倍	1.50倍	1.61倍	1.81倍	😊	1.83倍	025、132
	再エネ利用率(RE100)	18.2%	41.5%	100%	81.8%	😡※4	100%	025、133
③サプライチェーンにおけるCO ₂ の チャレンジ・ゼロ	主要サプライヤーによるSBT水準※1のGHG削減目標設定率	34.0%	65.9%	60%	57.7%	😞※5	80%	027、137
	再エネ・省エネソリューションの契約件数(支援件数)(累積)	—	9件	15件	15件	😊	25件	027、137

自己評価(目標未達成の理由・今後の対応)

※1: 2023年度は、ZEB率の高い大型物流施設の着工面積の減少などにより、ZEB率は68.5%となり目標の70%を達成することができませんでした。今後は事務所、工場、物販店舗、介護施設などその他の用途のZEB提案をより強化することで、全体のZEB率の向上を図ります。

※2: 2023年度は、2023年1月にグループ会社となった火力発電所における石炭の使用により、GHG排出量(総量)は2015年度比23.6%の増加となり、目標の50%削減を達成することができませんでした。今後は、発電方法をバイオマスと石炭の混焼から、バイオマス専焼に変更することで、GHG排出量の削減を目指します。

※3: 2023年度は、クリーンエネルギー自動車の航続距離の不足により、車両の入替が進まず、社用車の電気自動車導入率は6.3%となり目標の7%を達成することができませんでした。今後は、社用車のリースアップの時期に合わせて車両の入替導入を進めることで、クリーンエネルギー自動車の導入を促進します。

※4: 2023年度は、火力発電所での自家消費電力(非再エネ電力)が増加したことに加え、7月にグループから脱退した大和リゾートの非再エネ電力がオフセット(再エネ化)できなかったことで、再エネ利用率は81.8%となり目標の100%を達成することができませんでした。今後は、火力発電所のバイオマス専焼を進めるとともに、再エネメニューへの切り替えや非化石証書等の購入を実施します。

※5: 2023年度は、サプライヤーに求めるGHG削減目標レベルをWB2°C水準に引き上げ、脱炭素ダイアログなどを通じて目標レベルの向上を求めてきましたが、SBT水準のGHG削減目標設定率は57.7%となり目標の60%を達成することができませんでした。今後は目標レベルに達していないサプライヤーに対して、脱炭素ダイアログを中心としたエンゲージメントを強化するとともに、当社グループのもつ再エネ・省エネソリューションの提案により目標達成に向けた支援を行っていきます。

※イ: 2022年度までは、2°C水準(GHG排出量を毎年1.23%以上削減)としていましたが、2023年度以降は、WB2°C水準(同2.5%以上削減)へ目標を引き上げました。(「WB2°C」とは、世界の気温上昇を産業革命前より2°Cを十分に下回る水準に抑える温室効果ガス削減目標。)

■ 自然環境との調和(生物多様性保全)

チャレンジ・ゼロ	管理指標 (KPI)	2021実績	2022実績	2023目標	2023実績	2024目標	2026目標	該当ページ
④森林破壊の チャレンジ・ゼロ	調達木材におけるクラック木材比率	2.7%	3.1%	3.0%	1.0%	😊	1%	036、141
	森林破壊ゼロ方針設定率【1次サプライヤー】	—	6.1%	30%	45.6%	😊	70%	036、141
	森林破壊ゼロ方針設定率【2次サプライヤー以降】	—	0%	5%	2.6%	😡※6	30%	036、141
⑤生物多様性損失の チャレンジ・ゼロ	生態系に配慮した緑被面積(累積)	—	25.7万㎡	40万㎡	46.4万㎡	😊	60万㎡	037、142
	自社施設の重要サイトにおける管理保全計画の策定・実施率	—	1次スクリーニング完了 重要度判定実施中	管理保全計画策定	11.4%	—	14%	039、143
	Daiwa Plastics Smart Projectの推進— プラ素材配布物品代替率【オフィス等】	当社: 81% グループ: 92%	当社: 83% グループ: 74%	100%	当社: 90.9% グループ: 92.6%	😞※7	100%	039、143

自己評価(目標未達成の理由・今後の対応)

※6: 2023年度は、既に森林破壊ゼロ方針を設定済みの1次サプライヤーとサプライチェーンの見える化を行い、2次サプライヤー以降森林破壊ゼロ方針への賛同を募ってきましたが、サプライチェーンすべてで賛同を得るまでには至らず、森林破壊ゼロ方針設定率(2次サプライヤー以降)は2.6%となり目標の5%を達成することができませんでした。今後は、サプライチェーンのマッピングの範囲を拡大し、1次サプライヤーと協同して2次サプライヤー以降への森林破壊ゼロ方針の浸透を図ります。

※7: 2023年度は、使い捨てプラスチック製品について新規購入分のプラスチック素材以外への切り替えや、挨拶品の紙包装への切り替え等を実施したものの、一部在庫の使い捨てプラスチック製品を使用したことにより、プラ素材配布物品代替率【オフィス等】は当社単体で90.9%、当社を除くグループ会社全体で92.6%となり、目標の100%を達成することができませんでした。今後は、ガイドラインの周知を徹底し、プラスチック製品の適正利用を推進します。

環境行動計画(エンドレス グリーン プログラム 2026)の実績と自己評価

😊 : 2023年度目標達成
 😞 : 2023年度目標未達成(達成率90%以上)
 😟 : 2023年度目標未達成(達成率90%未満)

資源循環・水環境保全(長寿命化・廃棄物削減)

チャレンジ・ゼロ	管理指標 (KPI)	2021実績	2022実績	2023目標	2023実績	2024目標	2026目標	該当ページ
⑥資源利用・廃棄物の チャレンジ・ゼロ	資産有効活用促進件数	3,989件	4,276件	4,200件	3,289件 😞※8	2,900件	3,100件	048、144
	建物長寿命化促進件数	3,246件	8,984件	9,000件	8,929件 😞※9	7,045件	7,150件	048、144
	廃プラのマテリアルリサイクル率の向上【生産】	10.9%	16.8%	19%	21.6% 😊	22%	30%	049、144
	Daiwa Plastics Smart Projectの推進 ー特定アメニティプラ製品削減率【ホテル】 2021年度比	—	3.0%増加	20%削減	8.2%削減 😞※10	17%削減	50%削減	049、145
	Daiwa Plastics Smart Projectの推進 ー特定アメニティプラ製品マテリアルリサイクル率【ホテル】	—	0%	5%	0.03% 😞※10	1%	50%	049、145
	主要サプライヤーによる廃棄物ゼロエミッション目標設定率	34.5%	34.6%	50%	41.8% 😞※11	70%	90%	049、145
—	建設廃棄物排出量【生産】(売上高あたり)	57.5kg/百万円	53.8kg/百万円	60kg/百万円	50.8kg/百万円 😊	60kg/百万円	60kg/百万円	147
	建設廃棄物排出量【施工】(㎡あたり)	20.0kg/㎡	19.0kg/㎡	19kg/㎡	18.9kg/㎡ 😊	19kg/㎡	19kg/㎡	147
	建設廃棄物のリサイクル率	97.7%	97.9%	97%	97.6% 😊	98%	99%	146
⑦水リスクの チャレンジ・ゼロ	居住用途およびホテルにおける節水機器の採用率	89.8%	96.8%	97%	98.3% 😊	99%	99%	051、148
	売上高あたりの水使用量削減率 2012年度比	46.8%削減	42.7%削減	37%削減	42.3%削減 😊	43%削減	45%削減	052、148
	主要サプライヤーにおける水リスク調査実施率	—	85.5%	90%	93.9% 😊	97%	100%	052、150

自己評価(目標未達成の理由・今後の対応)

※8: 2023年度は、断熱改修を含むバリューアップを施した実棟をモデルハウスとし、リブネス事業による買取・再販の認知度向上を図りましたが、案件の大型化による件数の減少により、資産有効活用促進件数は3,289件となり、目標の4,000件を達成することができませんでした。今後はリブネスブランドのさらなる浸透を図るとともに、既存建物の売買仲介事業に人員を増強し既存建築物の流通を活性化させることで、資産の有効な活用を促進します。なお、2023年度の実績をふまえて、2024年度目標・2026年度目標を下方修正しています。

※9: 2023年度は、当社が販売した住宅に対して点検・診断を行い、保証を延長するためのメンテナンス工事を実施。また、賃貸住宅においては管理会社と連携し保証延長工事を推進することで建物長寿命化促進件数は8,929件となりましたが、わずかに目標の9,000件には至りませんでした。今後はオーナーさまに保証延長工事により建物の寿命を延ばすことで老朽化を軽減できるメリットをご理解いただき、建て替えの回避による資源投入や廃棄物の最小化に努めていきます。なお、2023年度の実績をふまえて、2024年度目標・2026年度目標を下方修正しています。

※10: 2023年度は、各ホテルにおいてアメニティバーの導入やアメニティ配布のとりやめ、竹製歯ブラシの導入などを行いましたが、特定アメニティプラ製品削減率【ホテル】は2021年度比8.2%削減にとどまり、目標の20%削減を達成することができませんでした。また、一部ホテルにおいてアメニティプラのマテリアルリサイクルを実施しましたが大規模に展開するためのスキーム確立に時間を要し、特定アメニティプラ製品マテリアルリサイクル率【ホテル】は0.03%となり、目標の5%を達成することができませんでした。今後は、各ホテルの成功事例の共有や大規模展開に向けたスキーム構築を行うことで、使い捨てプラスチックの削減・マテリアルリサイクルの拡大に努めていきます。なお、2023年度の実績をふまえて、2024年度目標を下方修正しています。

※11: 2023年度は、ゼロエミッションに関する意識向上を目指したゼロエミダイアログを実施することで、サプライヤーの廃棄物処理状況を確認し、リサイクルの目標レベル向上を目指しましたが、主要サプライヤーによる廃棄物ゼロエミッション目標設定率は41.8%となり目標の50%を達成することができませんでした。今後は、ゼロエミダイアログを継続しエンゲージメントを強化するとともに、より細かくサプライヤーの廃棄物処理状況を調査し、リサイクル状況の把握やレベル向上に努めていきます。

化学物質による汚染の防止

チャレンジ・ゼロ	管理指標 (KPI)	2021実績	2022実績	2023目標	2023実績	2024目標	2026目標	該当ページ
—	室内空気質自主基準適合率	96%	97.1%	100%	90.0% 😞※12	100%	100%	054
	PRTR排出・移動量 削減率(売上高あたり) 2012年度比※□	69.3%削減	70.4%削減	65%削減	74.2%削減 😊	0.1%削減※□	0.3%削減※□	054、151
	VOC排出量 削減率(売上高あたり) 2013年度比	38.5%削減	35.9%削減	32%削減	39.6%削減 😊	35%削減	35%削減	054、151

自己評価(目標未達成の理由・今後の対応)

※12: 2023年度は、集合住宅の一物件において室内空気質の自主基準値を超過したため、室内空気質自主基準適合率は90.0%となり目標の100%を達成することができませんでした。引き続き、低ホルムアルデヒド放散建材の採用を推進するとともに、今後は、施工時の換気を徹底するなど、取り組みの強化を図ります。

※□: PRTR法の改正により、2023年度の対象物質が見直されたため、2023年度実績までは2012年度と同様の対象物質について評価を実施し、2024年度以降は新たに2023年度を基準年として、法改正後の物質を対象とします。

環境マネジメント

チャレンジ・ゼロ	管理指標 (KPI)	2021実績	2022実績	2023目標	2023実績	2024目標	2026目標	該当ページ
—	環境貢献型事業売上高	—	12,762億円	13,500億円	15,814億円 😊	15,500億円	16,000億円	009、121
	eco検定取得者数	19,033人	25,080人	28,000人	28,134人 😊	30,000人	38,000人	014、122
	グリーン購入比率	95.6%	97.5%	95%	99.0% 😊	95%	95%	021、123
	気候変動の適応策実施状況	—	実施中	—	実施中	—	実施完了	028